

ホルター心電図

ホルター心電図とは？

24 時間連続して心電図を記録する検査のことです。

ホルターとは、考案者(Norman Jefferis Holter)の名前に由来するそうです。

発作的に生じる動悸や胸痛の診断，不整脈の検出とその重症度評価，抗不整脈薬の薬効評価，ペースメーカーの作動のチェック，心筋虚血の検出，抗狭心症薬の薬効評価，自律神経活動度評価，心室遅延電位の検出などに有用で，循環器領域で広く用いられている検査です。

要するに、心電図を長時間記録して、病院での短時間での心電図検査で検出できない異常を検出するのが目的です！

当院では、フクダ電子の FM-1300、FM-960、FM-980 で検査を行っております。

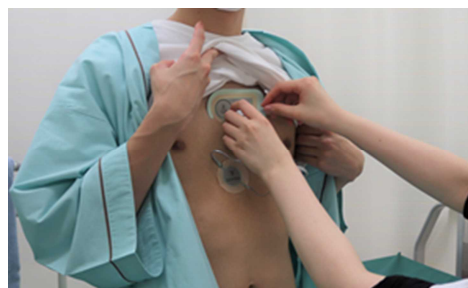
検査は、当日オーダー可能ですが、機械が全て使用されている場合は、あいている日に予約を入れていただくことになります。

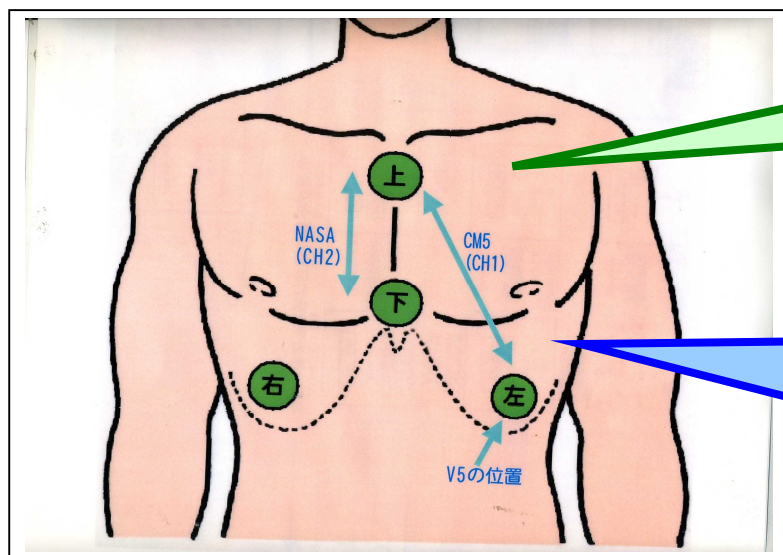
検査の実際

① 患者さんの胸をアルコールでふきます。

※アルコールにアレルギーのある方は別のものを使用します。

② FM-960 では患者さんの胸 4 カ所に電極シールを貼ります(下図参照)。





緑の丸が電極シールを貼る場所です。

当院では、CM5 誘導と NASA 誘導の二つの誘導の心電図を記録しています。

- ③ FM-1300 では 3 カ所に LP 用の FM-980 では 7 カ所に電極シールを貼ります。
- ④ 機械を装着し、機械を首からぶら下げるか、腰ベルトで固定します。
- ⑤ そのまま、1 日過ごして頂きます。下記の注意点以外は、普通に過ごして頂けます。
- ⑥ 行動記録カードをお渡ししますので、起床就寝時間と症状が出た時間の記入をお願いします。
- ⑦ 翌日、外来の場合は来院して頂き、生理検査室で外します(翌日が土日・祝日の場合は自宅で外して持ってきて頂きます)。
入院の場合は、病棟で看護師に外して頂きます。

注意点

- ・ 検査中の入浴・シャワー・水泳は不可です。
- ・ 検査中の電気毛布の使用は不可です。
- ・ 検査中の激しい運動や、振動は避けて頂きます。(例：体育の授業、部活動、草刈り機の使用等)但し、検査自体は普段の心電図の様子を見るものなので、なるべくなら普段通りに過ごしていただくことをお勧めします。
- ・ 電極シールを貼る場所の体毛が濃いと、心電図を上手く記録できないことがありますので、事前の処理をお勧めします。生理検査室で処理させて頂く場合もあります。
- ・ どのような場合でも、行動記録カードの持参を忘れないようお願いします。

結果について

検査終了後、結果の解析を行い、依頼科に結果をお返しいたします。

結果には、異常所見部分の心電図の実波形や24時間の圧縮心電図に加え、最大・平均・最小心拍数、心拍数の24時間トレンドグラム、上室性・心室性の期外収縮・頻拍の1日総数、時間毎の出現数、STトレンドグラム、心室遅延電位の有無などが出力されます。